



第15代堀尾吉晴公 松江武者行列

登場人物相関図

約400年前に現在の“城下町松江”の礎を築いた堀尾吉晴と忠氏親子が、堀尾衆200名とともに現代によみがえり、国宝松江城を目指し豪華絢爛時代絵巻を繰り広げます。

※武者行列としての設定であり、歴史上の解釈と違う場合があります。ご了承ください。

“仏の茂助”堀尾吉晴公

信長や豊臣秀吉に従って、姉川、長篠、山崎など多くの合戦に出陣し功をたて、とくに秀吉が明智光秀を討った山崎の合戦における、鉄砲隊を率いた天王山争奪をめぐる活躍は有名。その人となりについては、通称を茂助といい、容貌は端正、性格は温厚であることから「仏の茂助」と呼ばれ、城攻めでは、開城降伏の交渉など「タフネゴシエーター」としても活躍した。しかし、ひとたび戦場に立てば勇敢に戦う武勇に優れた人物であり、「鬼の茂助」とも呼ばれ、幾多の武功をあげる。加藤清正、藤堂高虎と並び築城名人としても知られ、松江城の完成を見届けた後、戦いに明け暮れた生涯を閉じる。

